

## 水道料金を半年間減免 2年目の決算

議案第 60 号 令和 3 年度加西市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

### 質 疑

**問** 令和 2 年度に引き続き令和 3 年度も水道料金を家庭用の全額、業務用等の基本料金をそれぞれ半年間にわたり減免した効果は。

**答** 半年間にわたり市民負担等を軽減し、コロナ禍における市民生活及び経済活動の支援について、一定の役割を果たせたものと考えます。

**問** 鴨谷配水池及び栗田ポンプ所の整備によるコスト削減は。

**答** 市川町からの受水施設を更新しようとするれば約 22 億円を要するところ、県水に切り替えるこの施設整備によって約 20 億円となります。そのうち加西市の負担は約 14 億円となり、8 億円の施設整備コストの削減となっています。維持管理費は 4 年後の令和 8 年度から、単年で 4,300 万円の削減効果が見込まれます。



### 討 論

#### 賛成

・市川町との長年にわたる事業の終止符を打つに当たって話し合いをされ、円満に解決が図られたことは本当によかった。また、コロナ禍に合わせて水道料金の免除を半年間実施されたことは、市民の暮らしや経済活動を支援するという意味ではいい施策であった。(建設経済厚生常任委員会)

### 議決結果

全会一致で  
原案認定



## コロナ禍 2 年目の病院決算

議案第 62 号 令和 3 年度加西市病院事業会計の決算認定について

### 質 疑

**問** コロナ患者の受入れによる収益増だが、コロナの収束や感染症分類の引下げにより、コロナ前の状況に逆戻りすることを危惧するが。

**答** 国・県からの補助金 12 億円余りのうち、コロナ対応の補助金は 11 億 5,000 万円でしたが、仮にこの補助金がなくても、令和 3 年度はほぼ収支均衡の経営になっているという試算です。市からの繰入金も 1 億 5,000 万円を減額しており、経営改善に向けた一定の成果が出ていると考えます。

**問** 監査意見には「病院自らの経営努力が一定行われているが、効果は限定的である」との表記があるが、経営改善・自助努力をどう見ているか。

**答** (代表監査委員) 今よりも職員数や経費をかなり削減した上で、病院建て替え後の経営が成り立つ前提です。現在、計画に後れを取っており、さらに 20 数億円の建設費が膨らむので、それ以上の改善をしないと、建て替え後の経営は立ち行かないと思います。

**問** 公立病院経営強化プランについて。今よりもさらに厳しい数値になるのか。



**答** 国から令和 4～5 年度で策定するよう指示があり、兵庫県が各病院の経営強化プランを調整し、確定させます。また、現在の加西病院のプランは新病院の事業費変更を含んだものではなく、今後の病床数や収益の減少を踏まえ、計画しないといけません。

### 討 論

#### 賛成

・国からの 12 億円余りの補助金収入があった中、コロナが一定収束し、コロナ患者の受入れによる収益分を差し引くと、病院経営がうまくいくのか疑問である。これから約 100 億円もの建て替えを控えているので、最終判断については相当慎重であるべきだ。(本会議)

### 議決結果

全会一致で  
原案認定

